

令和6年度 開成町子ども読書活動のアンケート結果のまとめ



<開成町子ども読書活動推進委員会>

令和6年9月(9/2~9/17)、開成町の小学2年生183名(回答154名、回答率84.2%)、5年生205名(回答178名、回答率86.8%)、中学2年生191名(回答169名、回答率88.5%)を対象として、読書活動に関するアンケートを実施しました。今年度は「第五次開成町子ども読書活動推進計画」の策定年度であることから、例年より2ヶ月余り早く実施するとともに、町民センター改修工事中のため、臨時図書室としての活動に対応した設問に一部を変更しました。

第四次開成町子ども読書活動推進計画

スローガン「読書好きな すてきな人に！」

《4つの目標》

- 1 読書好きな子の割合アップ
- 2 不読率を下げる
- 3 一日10分以上の読書を
- 4 ファミリー読書デーの認知度アップ

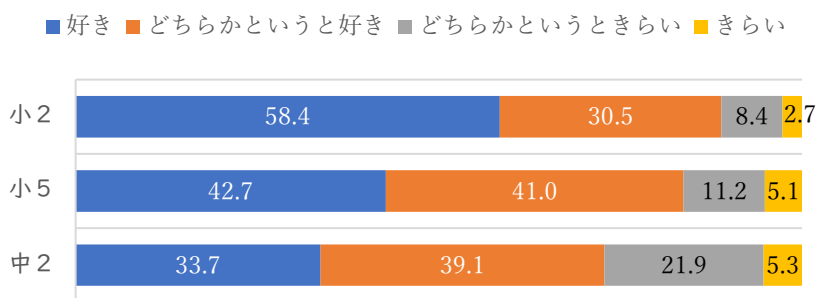
※「本を読むこと」とは、歴史マンガ・学習マンガや電子ブック等を読むことを含む

【目標1;読書好きな子の割合をアップ】

開成町第四次計画の数値目標
R6まで小90%、中80%

設問1 読書は好きですか

令和6年度



開成町における読書好きな子の割合は、「好き」「どちらかというが好き」という子の割合を合計すると、小学校2年生は88.9%、小学校5年生は83.7%、中学校2年生は72.8%でした。各学年とも昨年度より高い割合となりましたが、第四次計画の目標とする数値には届きませんでした。

【補足資料】

令和元年度～令和6年度までの読書が好きな子の割合の推移

※好き+どちらかと言えば好きな子の割合(単位%)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学2年	82.8	72.0	85.0	96.7	88.6	88.9
小学5年	69.6	68.0	90.5	86.9	71.1	83.7
中学2年	64.2	62.0	88.3	75.0	70.0	72.8

左は令和元年度からのアンケート結果をまとめたものです。年度や学年によって変動がありますが、全体的には高い水準を維持しています。

【目標2;不読率を下げる】

設問2 1か月で何冊本を読みますか

1か月で読む冊数別人数の割合(単位%)

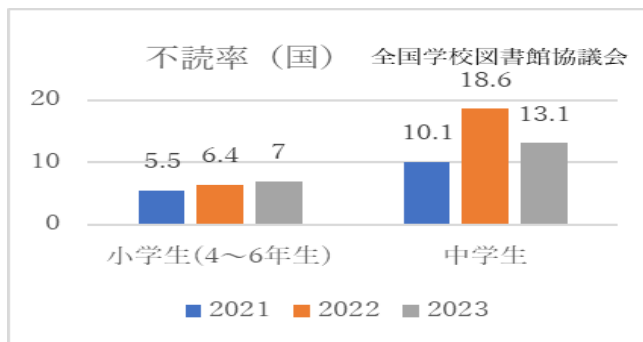
	小2	小5	中2
1 読まない	8.4	14.0	26.0
2 1～2冊	24.7	27.0	45.0
3 3～4冊	26.0	21.9	15.4
4 5～9冊	14.3	18.0	7.7
5 10～19冊	9.1	7.9	4.7
6 20冊以上	17.5	11.2	1.2

開成町第四次計画の数値目標
R6まで小4.7%、中11.2%

▼令和4・5・6年度の1冊も読まない子の割合(単位%)

	小2	小5	中2
R6	8.4	14.0	26.0
R5	7.4	23.7	29.4
R4	4.1	10.8	5.0

【補足資料】学校読書調査(全国学校図書館協議会)



昨年度に比べ、小学5年生と中学2年生の不読率は改善しましたが令和4年度より高く、また小学2年生の不読率が徐々に高くなっています。

左は全国学校図書館協議会による調査です。対象学年は異なりますが、不読率の上昇は全国的な傾向となっており、読書離れといわれる所以となっています。

設問3 設問2で0冊だった人に聞きます。本を読まないのは、どうしてですか

【いくつでも】(単位%)

	小2	小5	中2
1 読みたい本がない	37.0	33.3	56.8
2 本を読む時間がない	22.2	18.2	29.5
3 本を読むのが好きではない	18.5	36.4	40.9
4 外で遊びたい	18.5	27.3	15.9
5 塾・水泳等の習い事に行く	14.8	21.2	31.8

本を読まない子の多くが「読みたい本がない」と答えています。また、「時間がない」「本を読むのが好きではない」という回答も多く見られました。

設問4 どうしたら本を読めるようになりますか

【いくつでも】(単位%)

	小2	小5	中2
1 学習マンガをおく	23.4	24.2	26.6
2 図書室や町民センターでいろいろな本の紹介をする	29.9	21.3	13.6
3 友だちと一緒に読む時間をもつ	35.1	40.4	49.1
4 おすすめベスト3などを教える	31.2	28.7	19.5
5 本を読む時間をもつ	27.9	41.6	37.3
6 イベント(ビブリオバトル等)を行う	14.9	12.4	13.6

「どうしても本を読めるようになるか」という問いに対し、小中学生ともに「友達と一緒に読む時間をもつ」を挙げています。「朝読書」「読書タイム」等の全校一斉に行う読書活動や、学級単位で読書に親しむ時間を作ることなどが重要であると思われます。

【目標3;一日10分以上の読書を】

設問5 平日（月曜日から金曜日）に、毎日10分以上読書をしますか

【令和4～6年度読書アンケートより】 (単位%)

10分以上読書する	小2	小5	中2
R6年度	38.3	51.1	38.5
R5年度	38.4	46.1	40.5
R4年度	77.6	70.0	64.0

開成町第四次計画の数値目標
R6まで小76.7%、中65.5%

1日に10分以上読書する子どもの割合は、上昇した年度や学年はありますが、全体的に減少傾向にあります。

左表の全国学力学習状況調査の結果では、小学生は国、県の数値を上回っていますが、中学生は下回っています。

【令和5年度全国学力・学習状況調査より】(単位%)

	小学生（6年）	中学生（3年）
開成町	61.1	43.8
神奈川県	60.3	44.6
全 国	60.0	49.4

※令和6年度は同様の設問はありませんでした

設問6 ふだん、学校の図書室を利用しますか

図書室を利用する	小2	小5	中2
R6年度	86.4	62.4	26.0
R5年度	75.5	50.9	15.0
R4年度	79.4	59.1	13.0

学校図書室の利用者の割合は、小中学校ともに上昇傾向にあります。特に中学生の割合は大きく上昇しました。図書室利用に向けての各校の取組の成果と言えます。

設問7 「利用する」と答えた人に聞きます

(1) 1週間にどのくらい利用しますか。(単位%)

	小2	小5	中2
1回	35.0	50.9	60.0
2回	28.5	29.1	24.4
3回以上	36.5	20.0	15.6

利用率の上昇は、複数回利用している小中学生の割合が高いことからわかります。中学生では、週3回以上利用する生徒の割合が、昨年度の9.1%から15.6%に上昇しました。

(2) 図書室を利用する目的は何ですか。【いくつでも】(単位%)

	小2	小5	中2
本を借りるため	44.8	59.8	59.2
本を読むため	65.7	59.8	63.2
調べ学習をするため	28.0	18.2	18.4

図書室の利用目的は、「本を借りる」「本を読む」が中心であり、昨年度と比較して「調べ学習をするため」の割合は低くなっています。

設問8 問6で「利用しない」と答えた人に聞きます。利用しない理由は何ですか

【いくつでも】(単位%)

	小2	小5	中2
1 読みたい本がないから	40.9	54.3	55.7
2 図書室が開いていないから	20.5	7.1	4.1
3 図書室が遠いから	4.5	7.1	26.2
4 新しい本がないから	18.2	10.0	1.6
5 本のえらび方がわからないから	9.1	15.7	9.0
6 図書室に行く時間がないから	9.1	30.0	54.1
7 本を読むのが好きではないから	18.2	28.6	21.3

この設問は、小学2年生 154 名中 21 名(13.6%)、小学5年生 178 名中 67 名(37.6%)、中学2年生 169 名中 125 名(74%)の学校図書室を利用しない人に聞いた結果です。図書室を利用しない理由としては、「読みたい本がないから」「図書室に行く時間がないから」「本を読むのが好きではないから」を多く挙げています。これらは不読率の調査と類似した結果となっています。

設問9 この1年間に町役場臨時図書室に行ったことがありますか

▼「ある」と答えた人の割合と人数

	小2	小5	中2
割合 (%)	44.8	34.8	24.3
人数 (人)	69	62	41

町民センター改修工事のため、町役場1階に臨時図書室が設置されました。利用者は昨年度に比べやや減少しましたが、工事終了後は回復するものと思われます。

設問10 「ある」と答えた人に聞きます。町役場臨時図書室にどのくらい行きますか

▼町役場臨時図書室に行く頻度の割合(単位%)と人数(人)

	小2		小5		中2	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数
1 ほとんど毎日	7.5	6	0.0	0	0.0	0
2 週に1回くらい	20.0	16	14.9	10	0.0	0
3 2週間に1回	18.8	15	9.0	6	4.7	2
4 1か月に1回	21.3	17	23.9	16	11.6	5
5 1年に何回か	28.7	23	37.3	25	83.7	36

昨年度に比べ、臨時図書室に行く頻度の割合は高くなっており、特に学年が下がるにつれて顕著になっています。昨年度小学校2年生の「ほとんど毎日」の割合は 5.4%、「週に1回くらい」の割合は16.3%でした。

※ 昨年度まで行われていた町民センター図書室での「インターネット図書システム」と「キッズライブラリー」は一時休止となっていますので、設問は割愛しました。

【目標4;ファミリー読書デーの認知度アップ】

設問 11 開成町の「ファミリー読書デー」について聞きます

(1)開成町の「ファミリー読書デー」は、毎月1日であることを知っていますか

開成町第四次計画の数値目標
R6まで小80%、中70%

▼令和4年度～6年度「知っている子の割合」の推移(単位%)

	小2	小5	中2
令和6年度	38.3	59.0	38.2
令和5年度	28.6	53.3	52.0
令和4年度	30.7	65.7	40.0

小学2年生の認知度は年度を経るごとに上昇していますが、小学5年生、中学2年生は年度により上下しました。啓発ポスターの募集をはじめ各種広報活動を行いました数値目標の達成には至りませんでした。

▼ポスター出品数の推移

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
募集数	19	20	64	77	78	114

(2) 開成町では、ファミリー読書デーには、家族みんなで本を読もうという運動をしています、その日に取り組んだことがあれば教えてください。(単位%)

	小2	小5	中2
1 家族でいっしょに読書をした	28.6	9.6	3.6
2 家族みんなで本を読もうと声をかけあった	9.7	2.2	1.2
3 放送や帰りの会を利用してファミリー読書の日であることを知らせた(伝えた)	10.4	4.5	1.8
4 学校図書室やセンター図書室で本を借りた	12.3	13.5	1.8
5 友だちや家族と図書室などに読書に出かけた	11.7	7.9	2.4
6 何も取り組まなかった	44.8	71.3	92.3

(3)何も取り組まなかった人は、その理由を教えてください(単位%)

	小2	小5	中2
1 ファミリー読書をする必要を感じない	16.7	7.9	14.4
2 ファミリー読書をする理由がわからない	9.8	3.9	4.4
3 時間がない	23.5	27.8	22.5
4 ファミリー読書デーを知らない	30.4	22.2	35.0
5 うっかり忘れてしまった	18.6	31.0	21.9

「何も取り組まなかった」の割合が高いことがわかりますが、一方で「家族で一緒に読書をした」という小中学生の割合は、小学2年生が6.8%→16.7%、小学5年生が8.4%→9.6%、中学2年生は1.5%→3.6%と各校種・学年で上昇しました。何も取り組まなかった理由ではファミリー読書デーを知らない小中学生の割合が高く、引き続き啓発・広報活動等が必要です。

電子書籍について

設問 12 どのくらい電子書せきを使っていますか

(単位%)

	小2		小5		中2	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
1 たまに電子書せきを使って読書をする	33.6	60.4	32.5	40.4	24.8	20.1
2 読書はほとんど電子書せき	2.7	9.1	6.0	9.0	5.9	8.3
3 マンガは電子書せき、そのほかは紙	2.7	10.4	6.6	3.9	15.0	17.8
4 電子書せきは使わない	60.4	19.5	51.2	47.2	51.6	52.7

設問 13 あなたにとって、紙の本と電子書せきを比べると、どちらが身近だと思いますか

(単位%)

	小2		小5		中2	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
紙の本	91.0	74.7	86.7	89.3	69.7	72.8
電子書せき	9.0	25.3	13.3	10.7	30.3	27.2

電子書籍に対する小中学生の使用頻度は、昨年度と比較すると小学生が大きく上昇しました。中学2年生も「ほとんど電子書籍」が上昇していますので、全体的には使用頻度は高くなっていると言えるでしょう。しかし、学年を経るにつれて、上昇率は低くなり、紙の本の方が身近に感じるという子どもの割合も高くなっているようです。

設問 14 読書は、みんなの心をゆたかにするものです。多くの本を楽しむためには、

どのようにすればよいと思いますか

【いくつでも】(単位%)

	小2	小5	中2
1 小さいころから読み聞かせなどをして本の楽しさを教える	48.1	47.8	50.3
2 小さいころから図書室や本屋などに行く	37.0	37.1	39.6
3 家族で読書に親しむ	28.6	35.4	26.0
4 学校で読書の時間を決める	34.4	39.3	34.9
5 図書室を利用しやすくする	22.1	44.9	39.6
6 学校でボランティアの人たちに読み聞かせをしていただく	19.5	20.8	7.1
7 図書委員会が朝会などで本の紹介をする	26.6	25.3	17.2
8 電子書せきを図書室や町民センターに置く	21.4	17.4	16.6

読書好きになるための小中学生自らの意見は、これまでと同様、「1 小さいころから読み聞かせ…」 「2 小さいころから図書室や…」 「図書室を利用しやすく…」などを選んでいきます。

幼い頃からの読み聞かせや絵本等に親しむ時間の設定などが大事であると考えていることがわかります。

まとめ

○ 4つの数値目標に対する振り返り

「第四次開成町子ども読書活動推進計画（令和4年度～令和6年度）」においては4つの数値目標を設定し、実現に向けて取り組みました。

目標1 読書好きな子の割合アップ

各学年とも昨年度より高い割合となりましたが、第四次計画の目標とする数値には届きませんでした。しかし、調査の種類や対象学年等によって比較が難しいものもありますが、「読書が好き」という内容において、開成町の子どもたちは全体的に高い水準を維持しています。国の第五次基本計画にもあるように、「読むこと自体の楽しさ、それによる充実感、満足感を得ることが重要」です。

今後も読書活動の推進において、「読書が好き」ということは最も基本的で重要な要素であると言えます。

目標2 不読率（1か月に1冊も読まない子の割合）を下げる

年度や学年によって低下傾向は見られましたが、全体的には上昇しており数値目標とはかなりの隔たりがありました。

不読率の上昇は全国的な傾向となっており、これには新型コロナウイルスの影響、インターネット利用率の向上が動画の視聴やゲームが中心となっている点などが影響しているものと思われます。また、大人の不読率も上昇しており、幅広い年代を対象とした取組が子どもの不読率の低減につながると言えるでしょう。

目標3 一日10分以上の読書を

小学5年生が昨年度の数値を上回ったものの、全体的には減少傾向となっており、目標とする数値には至りませんでした。

令和5年度の全国学力学習状況調査では、小学生は全国、県の割合を上回り、中学生は下回りました。数値は年度により異なりますので、概ね全国や県と同様の水準であると言えるでしょう。

目標4 ファミリー読書デーの認知度アップ

毎月1日がファミリー読書デーであることを知っている小中学生の割合は、小学2年生は年度を経るごとに上昇しましたが、小学5年生及び中学2年生は、年度により上下がありました。

今年度は小学生による啓発ポスターの出品数が114部と大変多く、各校の指導と児童の積極的な取組が評価されます。

今年度で「第四次子ども読書活動推進計画」が終了となります。今回の読書アンケートの結果を指標の一つとし、第五次計画の策定を行います。ご協力いただいた学校、先生方、児童・生徒の皆さんに感謝申し上げます。